



● 天保山客船ターミナル



● 夢洲コンテナターミナル



● ATC



● 大阪府咲洲庁舎



● 舞洲アリーナ

## ② 大阪港の広がり

大阪港には築港・桜島など古くからひらけていた地区と、新しく海をうめ立ててつくった人工の島の咲洲や舞洲、夢洲などがあります。

天保山には天保山ハーバービレッジ、海遊館や世界の客船がやってくる天保山客船ターミナルがあります。咲洲には、ATCなどのあるコスモスクエア地区や、たくさんのコンテナターミナルがあり、中国や韓国と大阪を結ぶフェリーターミナルもあります。また、舞洲には、くだものや野菜のほかに、自動車や建設機械をあつかうふ頭やスポーツ施設、夢洲にはコンテナ船が着くコンテナターミナルがあります。(→9, 10, 11ページ)

このように大阪港には、市民が楽しむところや人や貨物を運ぶたくさんの施設があって、日本全国や世界の国とつながっています。

## ③ 貨物や人の動き

大阪港には、国内の船だけでなく、外国の船もたくさん来ます。2014年(平成26年)に大阪港に入港した船は、2万3501隻で、取りあつかい貨物量は8648万トンでした。くだものについて調べると、次のようなことがわかりました。

くだものを運んできた船の数	751隻
くだものの全体量	16万トン
くだものの種類	約30種類

また、2014年に国内フェリーと国際フェリーで大阪港を利用した人は99万人もいました。